

# 三菱グラフィック オペレーションターミナル テクニカルニュース

No. GOT-D-0039 1/23

2011年4月初版発行

<b>表 題</b>	保守点検などにおけるGOT交換作業手順について
<b>適用機種</b>	GOT1000シリーズ

三菱グラフィックオペレーションターミナル(GOT)に格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

GT16, GT15の保守点検などでGOT交換が必要となった場合の交換手順について、以下に説明します。  
本内容を参考にGOTを交換していただくようお願いいたします。

なお、本交換手順は標準的な内容で記載しています。本内容によらないお客様固有のシステムについては、お客様にて判断をお願いします。

1. GOT交換前の確認作業	2
1.1 交換前に準備するもの	2
1.2 プロジェクトデータ, OS格納先の確認フロー	2
2. GOTの交換手順	3
2.1 GOTデータ一括取得による手順	3
2.2 CドライブにOS, Aドライブ(CFカード)にプロジェクトデータがある場合の手順	6
2.3 パソコンによる手順(OSのバージョンアップを実施する場合)	10
3. GOT本体の各種設定の確認方法	15
3.1 BootOSバージョンとOSの確認方法	15
3.2 GOTセットアップの確認方法	16
3.2.1 GT16モデルの場合	16
3.2.2 GT15モデルの場合	18
3.3 メンテナンス時期通知の確認方法	19
3.4 特殊データ有無の確認方法	20
3.5 接続機器設定の確認方法	21
3.6 パソコンリモート操作機能の確認方法	22
付録.1 GT16交換時チェックシート	付1
付録.2 GT15交換時チェックシート	付2

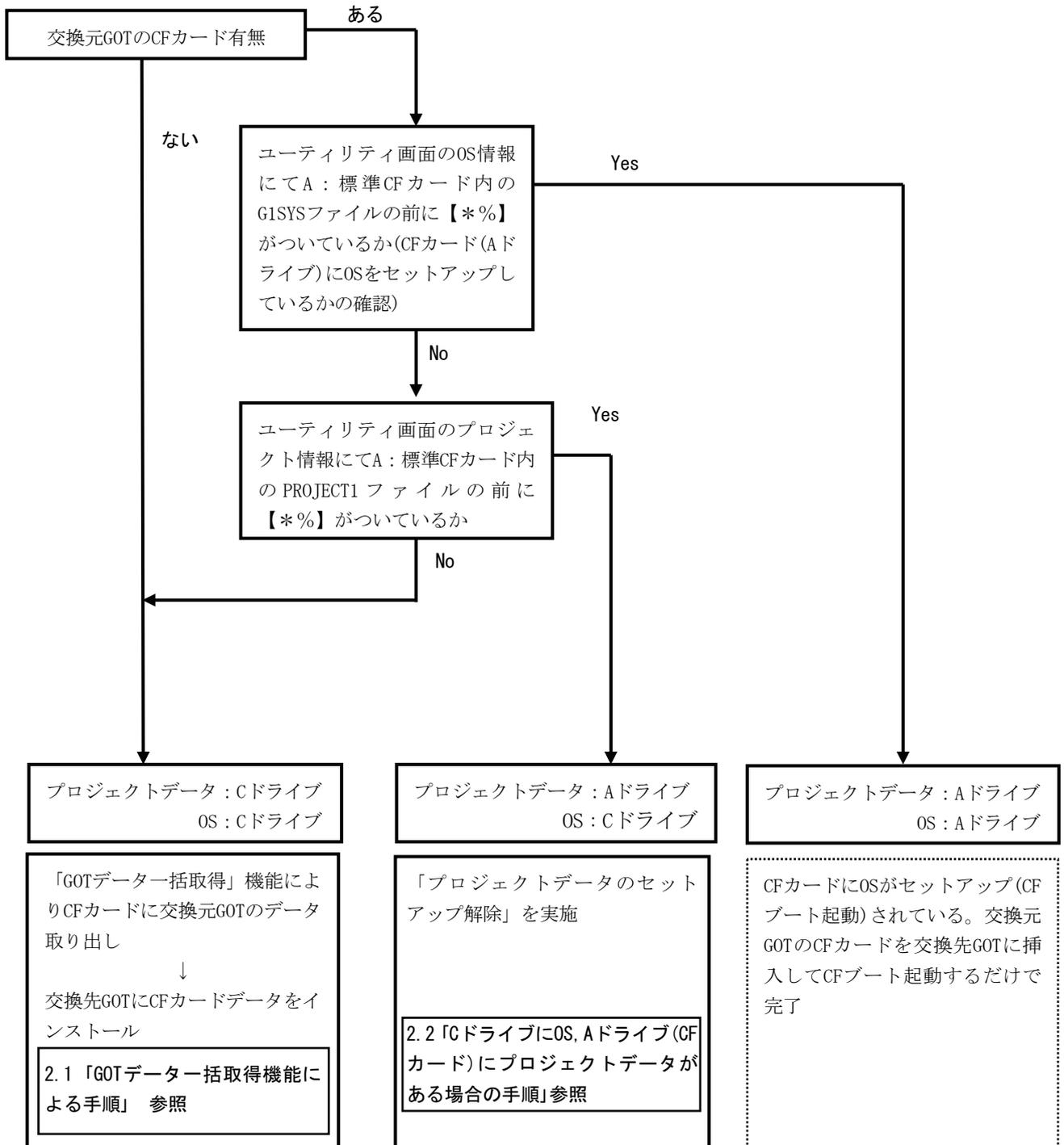
## 1. GOT交換前の確認作業

### 1.1 交換前に準備するもの

交換を実施するには下記が必要となります。準備してください。

- ①32MB以上のCFカード2枚
  - ・Cドライブ(16MB)をバックアップするため32MB以上のCFカードが必要です。
  - ・CFカードは2枚ともFAT(FAT16)でフォーマットしてください。
  - ・2GBより大きな容量のCFカードを使用することはできません。
- ②GT Works3 または GT Designer2がインストールされているパソコン
- ③USBケーブルまたはRS-232ケーブル

### 1.2 プロジェクトデータ、OS格納先の確認フロー



## 2. GOTの交換手順

### 2.1 GOTデータ一括取得による手順

交換元GOTのユーティリティ画面にある「GOTデータ一括取得」機能を用いてGOT本体にインストールされている下記のデータをメモリカードへコピーします。

- ・OS (BootOS, 基本OS, 通信ドライバ, 拡張機能OS, オプション機能OS)
- ・特殊データ
- ・プロジェクトデータ
- ・ユーティリティ設定データ

#### [注意事項]

- (1)データ一括取得でデータがコピーされているメモリカードを使用してGOTへコピーした場合、ユーティリティの設定(作業環境情報, 接続機器設定情報など。ただしXGA機のアナログタッチパネル調整データは除く)もコピーされます。ただし、GOT本体の機能バージョンK未満のBootOSの2点押し機能ではユーティリティの設定情報はインストールできません。
- (2)GOTデータ一括取得をする場合、メモリカードには他のデータを格納しないでください。格納されている他のデータは使用できなくなります。
- (3)GOTデータ一括取得中にロギングデータ保存時刻になった場合、ロギングデータの保存は実行されません。あらかじめロギングデータの保存時刻が分かっている場合は、その時刻を避けて実施して下さい。

### 1. パソコンリモート操作の確認 (GT16モデルの場合のみ)

[メインメニュー]→[プログラム/データ管理(保全機能→メモリ・データ管理)]→[OS情報]を開く  
G1SYSのプロパティを表示し、拡張機能の「パソコンリモート操作機能(Ethernet)」があるかを確認する。  
拡張機能がある場合、ライセンス管理番号をチェックシートに記載する。(3.6参照)

### 2. 交換元GOTの設定情報の確認

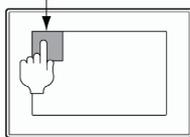
ユーティリティ呼び出しキーにてメインメニューを呼び出します。  
メインメニューで得られる情報をチェックシートに書き写してください。

#### ※メインメニューへの切換方法

ユーティリティ呼び出しキーをタッチし、メインメニューを表示します。(下図参照)

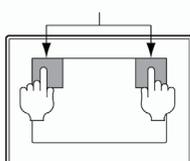
GT16, GT1595の場合

ユーティリティ呼び出しキー  
左上隅1点タッチ

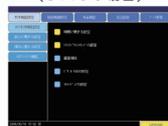


GT1585, GT157□, GT156□,  
GT155□の場合

ユーティリティ呼び出しキー  
同時2点タッチ



メインメニュー  
(GT16の場合)



(GT15の場合)



ユーティリティ呼び出しキーは、下記にて確認ください。

確認方法：

- ①メインメニュー→GOTセットアップ→操作の設定→ユーティリティ呼び出しキー
- ②プロジェクトデータをアップロード→システム環境→GOTセットアップ

#### ※デフォルト設定

- ・GT1595-XTB□, GT16モデル : 左上
- ・GT15モデル(GT1595-XTB□を除く) : 左上と右上2点押し

### 3. 交換元のGOTへCFカード(データバックアップ用)を挿入

①交換元GOTのCFカードアクセススイッチを OFFにする。

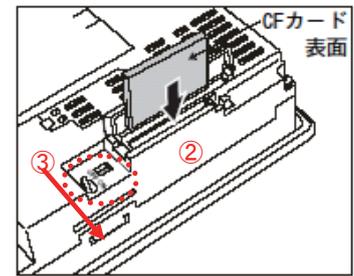
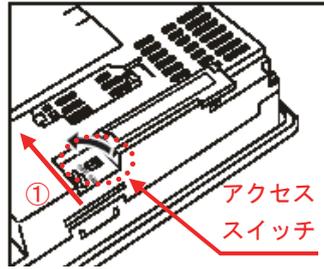
※CFカードアクセスLEDが消灯であることを確認ください。

なお、アクセススイッチがONのまま挿入した場合、CFカードが破損する恐れがあります。

②CFカードインターフェースへCFカードを挿入する。

注：CFカードは必ずフォーマットしてください。

③CFカード挿入後、アクセススイッチをONにする。



アクセス  
スイッチ

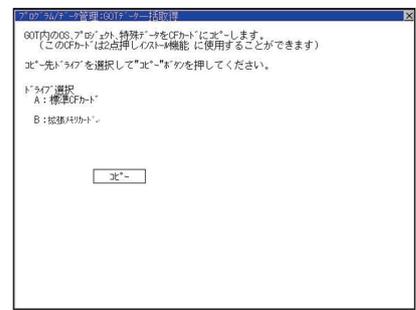
### 4. GOTデータ一括取得画面を開く

<GT16モデルの場合>

[メインメニュー]から[保全機能]→[メモリ・データ管理]→[GOTデータ一括取得画面]を開きます。

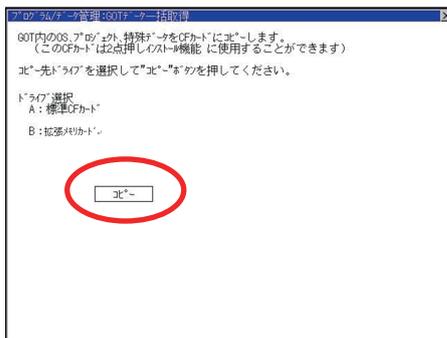
<GT15モデルの場合>

[メインメニュー]から[プログラム/データ管理]→[GOTデータ一括取得画面]を開きます。

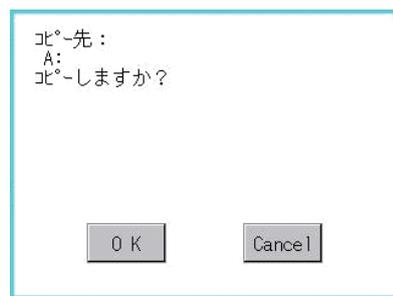


### 5. コピーを開始

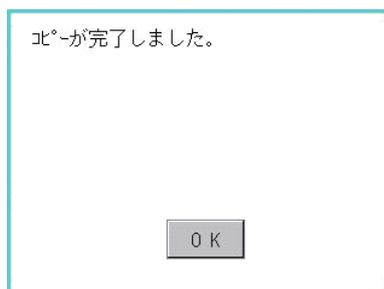
ドライブを選択し反転表示させたいうえで、[コピー]ボタンをタッチするとコピーを開始します。



ドライブを選択して反転表示させた上で「コピー」ボタンをタッチすると、コピーを開始します

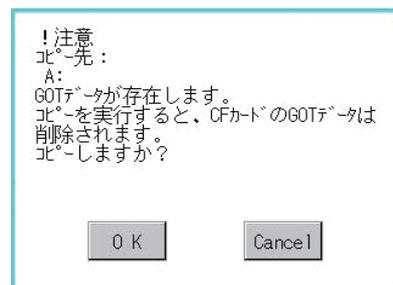


正常終了の場合



異常発生の場合

表示される内容に沿って処置してください



## 6. CFカードを取り出し、パソコンへデータを保存

- ①交換元GOTのCFカードアクセススイッチをOFFにし、CFカードを取り出す。
- ②CFカードのデータをパソコンに保存する。  
 注1：データが破損したときのため、必ずパソコンへバックアップしてください。  
 注2：複数台のGOTを交換する際は、パソコンに保存したデータがどのGOTのデータなのかわかるよう保存してください。

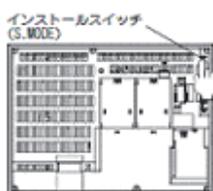
## 7. データをCFカードから交換先GOTのGOT本体へダウンロードする。

- ①交換先GOTのCFカードインタフェースにGOT一括データ取得で作成したCFカードを挿入する。
- ②CFカードアクセススイッチをONにする。  
 注1：外付けドライブユニットは使用できません。必ず標準CFカードインタフェースに挿入してください。
- ③GT15モデル (GT1595-XTB□を除く)：GOTの左上と左下2点をタッチしながらGOTの電源を投入する。  
 GT16モデルとGT1595-XTB□：S. MODEスイッチ(インストールスイッチ)を押しながら、GOTの電源を投入する。

GT15モデル  
(GT1595-XTB□を除く)



GT16モデル  
GT1595-XTB□



- ④「CFカードをチェックしています。」→「インストール実行中…」→「プロジェクトデータのダウンロードを実行しますか?」→「ダウンロード実行中…」→「インストールが完了しました。再起動します」と順に表示される。  
 注2：再起動後に言語選択が表示された場合は日本語を選択し、後にセットアップ設定でご使用となる言語に再設定することをお勧めします。

## 8. モニタ画面の表示確認

GOTの電源を切る→通信ユニットの装着→GOTの電源再投入→モニタ画面の表示確認

交換作業は以上で終了です。

## 2.2 CドライブにOS, Aドライブ(CFカード)にプロジェクトデータがある場合の手順

Aドライブ(CFカード)にプロジェクトデータがセットアップされている場合、メインメニューよりセットアップの解除が必要となります。

### 1. パソコンリモート操作の確認(GT16モデルの場合のみ)

[メインメニュー]→[プログラム/データ管理(保全機能→メモリ・データ管理)]→[OS情報]を開く  
G1SYSのプロパティを表示し、拡張機能の「パソコンリモート操作機能(Ethernet)」があるか確認する。  
拡張機能がある場合、ライセンス管理番号をチェックシートに記載する。(3.6参照)

### 2. 交換元GOTの設定情報の確認

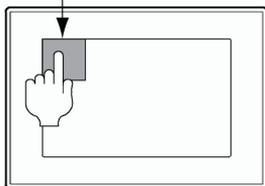
ユーティリティ呼び出しキーにてメインメニューへ切換えを行います。  
メインメニューにて得られる情報をチェックシートに記載ください。

※メインメニューへの切換え方法

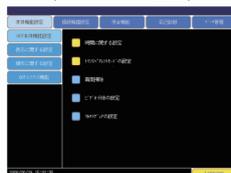
ユーティリティ呼び出しキーをタッチし、メインメニューを表示します。(下図参照)

GT16, GT1595の場合

ユーティリティ呼び出しキー  
左上隅1点タッチ

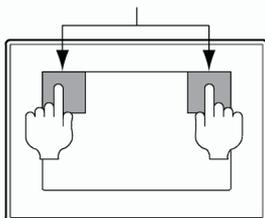


メインメニュー  
(GT16の場合)



GT1585, GT157□, GT156□,  
GT155□の場合

ユーティリティ呼び出しキー  
同時2点タッチ



(GT15の場合)



ユーティリティ呼び出しキーは、下記にて確認ください。

確認方法：

- ①メインメニュー→GOTセットアップ→操作の設定→ユーティリティ呼び出しキー
- ②プロジェクトデータをアップロード→システム環境→GOTセットアップ

※デフォルト設定

- ・GT1595-XTB□, GT16モデル：左上
- ・GT15モデル(GT1595-XTB□を除く)：左上と右上2点押し

### 3. プロジェクトデータのセットアップ解除

プロジェクトデータのセットアップ解除を実施すると、交換元GOTのプロジェクトデータがCドライブ起動に変更されます。

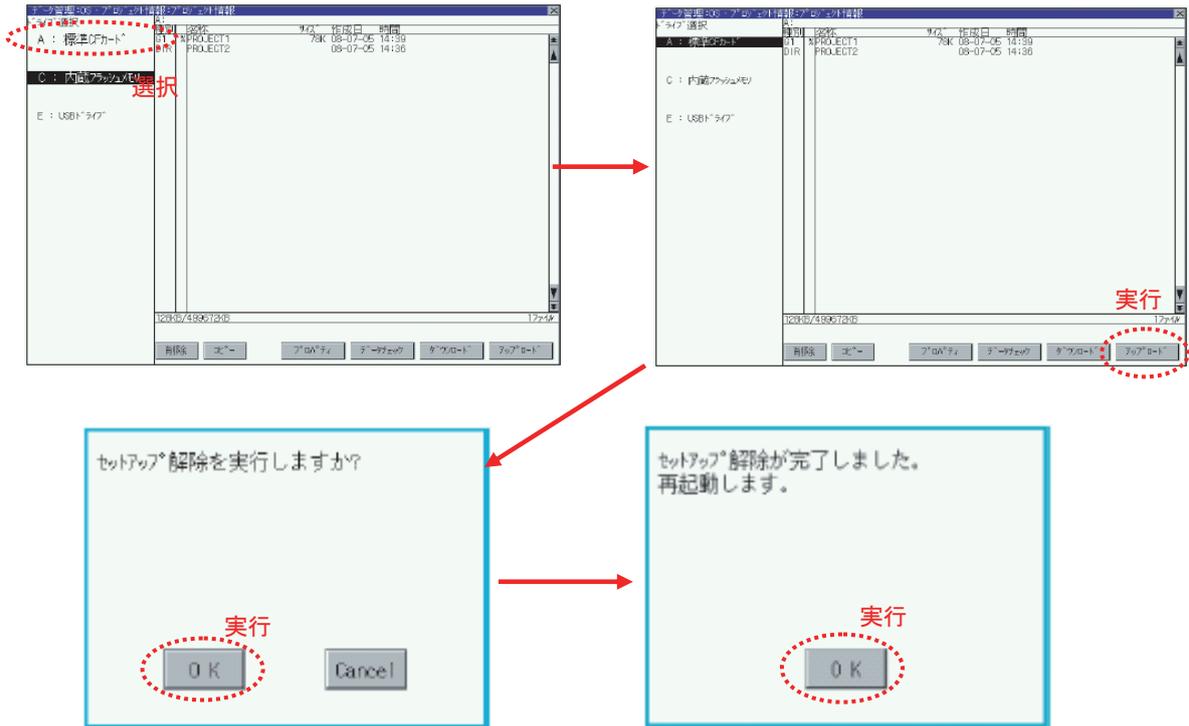
①<GT16モデルの場合>

[メインメニュー]から[データ管理]→[OS・プロジェクト情報]→[プロジェクト情報]を選択します。

<GT15モデルの場合>

[メインメニュー]から[プログラム/データ管理]→[プロジェクト情報]を選択します。

②プロジェクト情報画面のドライブ選択で「A：標準CFカード」を選択(白黒反転)し、[アップロード]ボタンをタッチします。



### 4. 交換元GOTへCFカード(OSデータバックアップ用)を挿入

①交換元GOTのCFカードアクセススイッチをOFFにする。

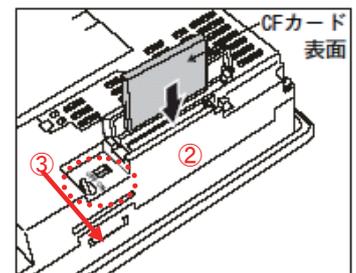
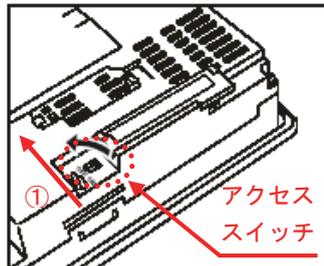
※CFカードアクセスLEDが消灯であることを確認ください。

なお、アクセススイッチがONのまま挿入した場合、CFカードが破損する恐れがあります。

②CFカードインターフェースへCFカードを挿入する。

注：CFカードは必ずフォーマットしてください。

③CFカード挿入後、アクセススイッチをONにする。



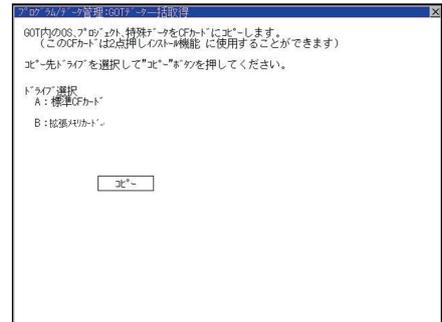
## 5. GOTデータ一括取得画面を開く

### <GT16モデルの場合>

[メインメニュー]から[保全機能]→[メモリ・データ管理]→[GOTデータ一括取得画面]を開きます。

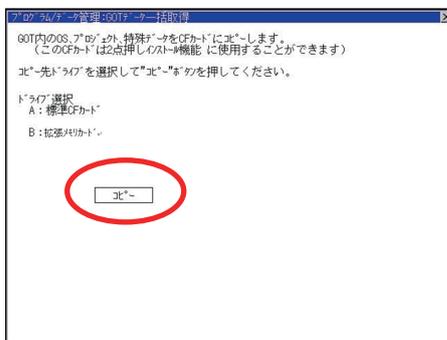
### <GT15モデルの場合>

[メインメニュー]から[プログラム/データ管理]→[GOTデータ一括取得画面]を開きます。

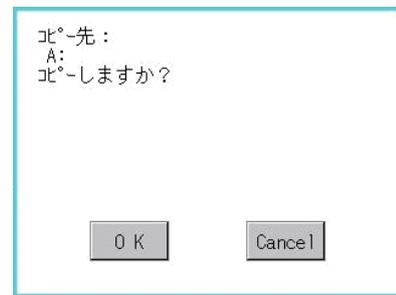


## 6. コピーを開始

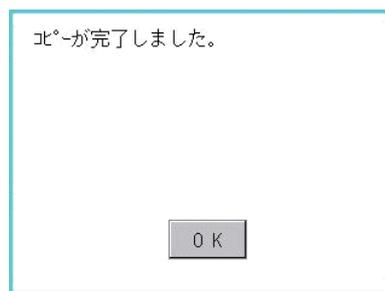
ドライブを選択し反転表示させたうえで, [コピー]ボタンをタッチするとコピーを開始します。



ドライブを選択して反転表示させた上で「コピー」ボタンをタッチすると、コピーを開始します

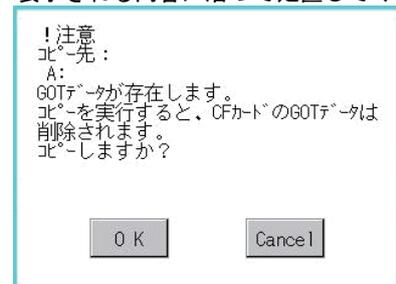


正常終了の場合



異常発生の場合

表示される内容に沿って処置してください



## 7. CFカードを取り出し、パソコンへデータを保存

①交換元GOTのCFカードアクセススイッチをOFFにし、CFカードを取り出す。

②CFカードのデータをパソコンに保存する。

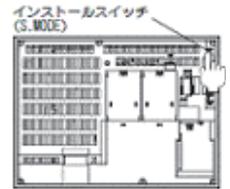
注1: データが破損したときのため、必ずパソコンへバックアップしてください。

注2: 複数台のGOTを交換する際は、パソコンに保存したデータがどのGOTのデータなのかわかるよう保存してください。

### 8. データをCFカードから交換先GOTのGOT本体へダウンロードする。

- ① 交換先GOTのCFカードインタフェースにGOT一括データ取得で作成したCFカードを挿入する。
- ② CFカードアクセススイッチをONにする。  
注1：外付けドライブユニットは使用できません。必ず標準CFカードインタフェースに挿入してください。
- ③ GT15モデル(GT1595-XTB□を除く)：GOTの左上と左下2点をタッチしながらGOTの電源を投入する。  
GT16モデルとGT1595-XTB□：S. MODEスイッチ(インストールスイッチ)を押しながら、GOTの電源を投入する。

④ 「CFカードをチェックしています。」→「インストール実行中…」→「プロジェクトデータのダウンロードを実行しますか?」→「ダウンロード実行中…」→「インストールが完了しました。再起動します」と順に表示される。



注2：再起動後に言語選択が表示された場合は日本語を選択し、後にセットアップ設定でご使用となる言語に再設定することをお勧めします。

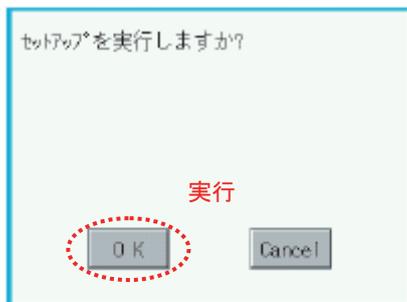
GT15モデル (GT1595-XTB□を除く)

GT16モデル GT1595-XTB□

### 9. プロジェクトデータのセットアップ

この手順によりプロジェクトデータの起動ドライブをCドライブからAドライブへと変更します。

- ① 交換先GOTのCFカードインタフェースに、交換元GOTよりGOT一括データ取得で作成したCFカードを挿入する。
- ② CFカードアクセススイッチをONにする。
- ③ GT16モデルの場合、[メインメニュー]から[データ管理]→[OS・プロジェクト情報]を選択します。  
GT15モデルの場合、[メインメニュー]から[プログラム/データ管理]→[プロジェクト情報]を選択します。
- ④ プロジェクト情報画面からドライブ選択で「A:標準CFカード」を選択(白黒反転)し、[ダウンロード]ボタンをタッチします。



### 10. モニタ画面の表示確認

GOTの電源を切る→通信ユニットの装着→GOTの電源再投入→モニタ画面の表示確認

交換作業は以上で終了です。

## 2.3 パソコンによる手順(OSのバージョンアップを実施する場合)

この作業は、OSのバージョンアップが必要な際に実施してください。

注：CFカードのリード/ライトが出来る環境のパソコンをご準備ください。

注：GT Designer2または3のバージョンが客先のGT Designer2または3のバージョンと同一または最新であることを確認してください。

### 1. 格納先OS情報の確認(3.1参照)

\*メインメニューへの切換方法は2.2.1の作業手順2を参照

[メインメニュー]から[プログラム/データ管理]→[OS情報]→“G1SYS”選択→プロパティ情報は、チェックシートに記載ください。

また、ユーティリティ画面のOS情報、プロジェクト情報にてG1SYSファイル、PROJECT1ファイルの前に【\*%】がついているドライブを確認してください。(起動ドライブの確認)

### 2. パソコンリモート操作の確認(GT16モデルの場合のみ)

メインメニュー→プログラム/データ管理(保全機能→メモリ・データ管理)→OS情報を開く  
G1SYSのプロパティを表示し、拡張機能の「パソコンリモート操作機能(Ethernet)」があるか確認する。  
ある場合、ライセンス管理番号をチェックシートに記載する。(3.6参照)

### 3. GOTのセットアップの確認

メインメニュー→GOTセットアップ→表示の設定, 操作の設定, 回路モニタの設定, トランスペアレントモードの設定, メインメニュー→メンテナンス時期通知を確認する。

### 4. 特殊データの確認

メインメニュー→プログラム/データ管理→特殊データ情報→G1SPC→プロパティ  
特殊データの内容をチェックシートに記入する。

注：ユーザが特殊データを使用していない場合は「G1SPC」が存在しません。

\*1~3の情報は必ずチェックシートに記載ください。

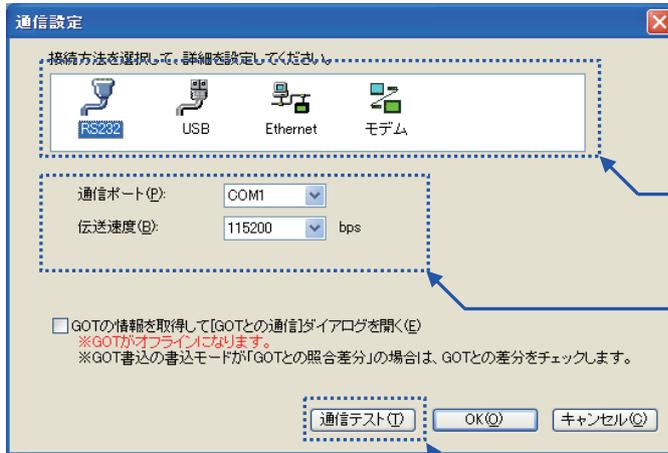
### 5. GT Works3またはGT Designer2を起動し、USBまたはRS-232でGOTと接続

注：パソコンがUSBケーブルを認識しているか下記にて確認可能です。(下記：USBケーブル認識時)

マイコンピュータ→プロパティ→ハードウェア→デバイスマネージャ→USBコントローラ  
→MITSUBISHI GOT1000 USB Controller

## 6. プロジェクトデータを交換元GOTのGOT本体からパソコンへアップロード

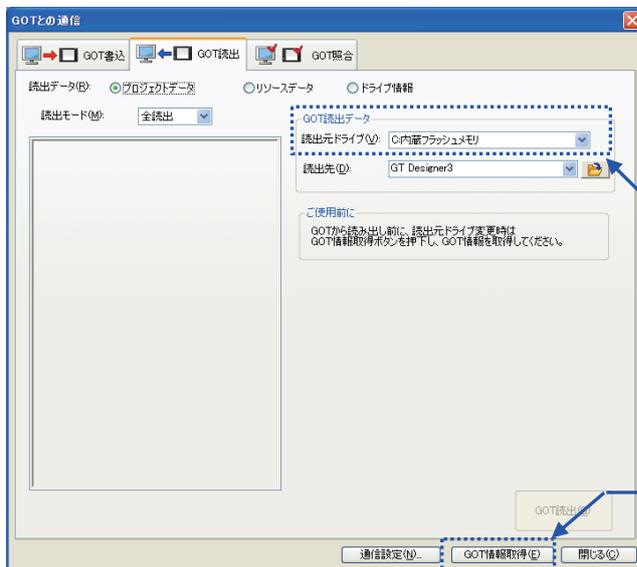
注1：通信設定を必ず確認ください。



接続方法を選択してください。

RS-232の場合、詳細設定をしてください。

通信テストを選択してください。



アップロード先のドライブを選択してください。

詳細取得を選択後、アップロードをしてください。

注2：GOTにシーケンサとの接続の設定が行われている状態でGOTとシーケンサが未接続の場合、GOTはシーケンサと通信できないためリトライ通信処理を行います。この状態でパソコンとの通信を行うと通信エラーが発生(エラーコード：8011000a)することがあります。この場合、メインメニューの[接続機器設定]にて、下記方法で対応ください。

- a) GOTとシーケンサをRS-232インタフェース経由で接続する場合  
標準インタフェースにあるRS-232Cの「ChNo.」を”1”→”0”または”1”→”9”(RS-232によるアップロード時)に変更ください。
- b) GOTとシーケンサをバス接続する場合  
拡張インタフェースにある「ChNo.」を”1”→”0”に変更してください。

上記以外の通信方法で通信エラーが発生した場合は、「ChNo.」の”1”～”4”のFA機器接続を“0”の未接続に変更し、GOT内でのリトライ処理による割込みができない状態を回避してください。なお、アップロード後のプロジェクトデータ内にある接続機器設定は、”0”の未接続または”9”のパソコン接続になっていますので、必ず変更前の状態に修正ください。

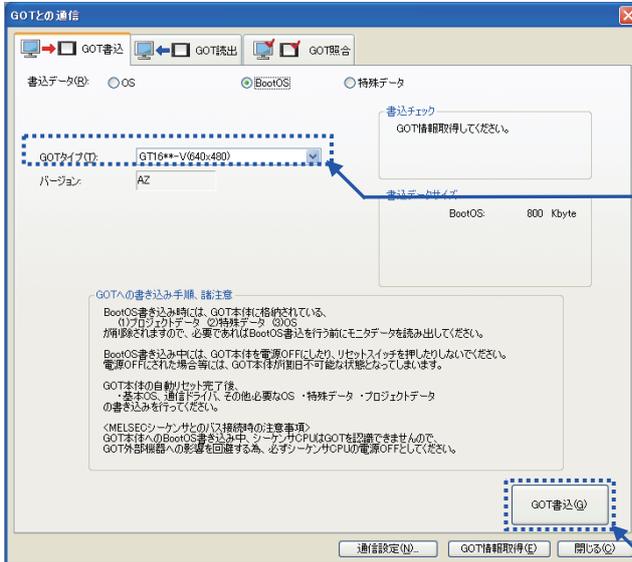
ここまでで交換元GOTでの作業は終了となりますので、交換元GOTの電源を切り、交換先GOTを取り付けてください。取り付け終了後、交換先GOTに電源を投入しUSBまたはRS-232ケーブルでパソコンと接続してください。

7. OS, プロジェクトデータ, 特殊データを交換元GOTへインストール

<交換元GOTのOSがCドライブ起動の場合>

“1. OS情報の確認” でインストールされていたOSのインストールを実施してください。

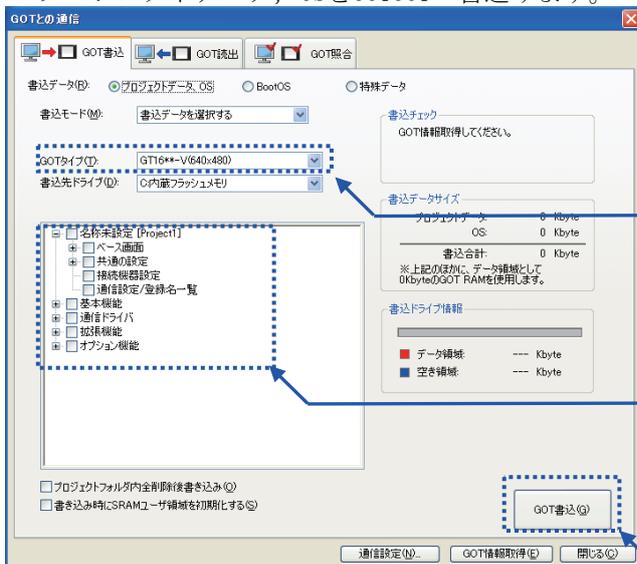
注1：交換先GOTのBootOSバージョンが交換元GOTのBootOSバージョンより低い場合、必ずBootOSのバージョンアップを実施してください。(下図参照)



GOTタイプを選択してください。

GOT書込を選択してください。

プロジェクトデータ, OSをGOTGOTへ書込みます。



GOTタイプを選択してください。

インストールするOS, プロジェクトデータ  
を選択してください。

GOT書込を選択してください。



“3. 特殊データの確認”で確認した特殊データをダウンロードしてください。  
 注：ユーザが特殊データを使用していない場合、この作業は必要ありません。

GOTタイプを選択してください。

ユーザが使用していたデータを選択してください。

GOT書込を選択してください。

<交換元GOTのOSがAドライブ(CFカード)起動の場合>

“1. OS情報の確認”でインストールされていたOSのインストールを実施してください。

注1：交換先GOTのBootOSバージョンが交換元GOTのBootOSバージョンより低い場合、必ずBootOSのバージョンアップを実施してください。(下図参照)

GOTタイプを選択してください。

GOT書込を選択してください。



CFカードをパソコンに接続し、通信→メモリカード転送を選択してください。

メモリカード挿入先ドライブを選択して

GOTタイプを選択してください。

A : 標準CFカードを選択してください。

書き込データサイズ

プロジェクトデータ	4 Kbyte
OS	4699 Kbyte
特殊データ	0 Kbyte
書き込合計	4703 Kbyte

※上記のほかにも、データ領域として184KbyteのGOT RAMを使用します。

書き込メモリカード情報

データ領域	8 Kbyte
空き領域	250616 Kbyte

書き込するOS、プロジェクトデータ、特殊データを選択してください。

メモリカード書込を選択してください。

## 8. モニタ画面の表示確認

GOTの電源を切る→通信ユニットの装着→GOTの電源再投入→モニタ画面の表示確認

## 9. GOTセットアップ内容の設定

メインメニュー→GOTセットアップを3で確認した内容(チェックシートに記載)とおりに設定する。

交換作業は以上で終了です。

### 3. GOT本体の各種設定の確認方法

#### 3.1 BootOSバージョンとOSの確認方法

##### <GT16モデルの場合>

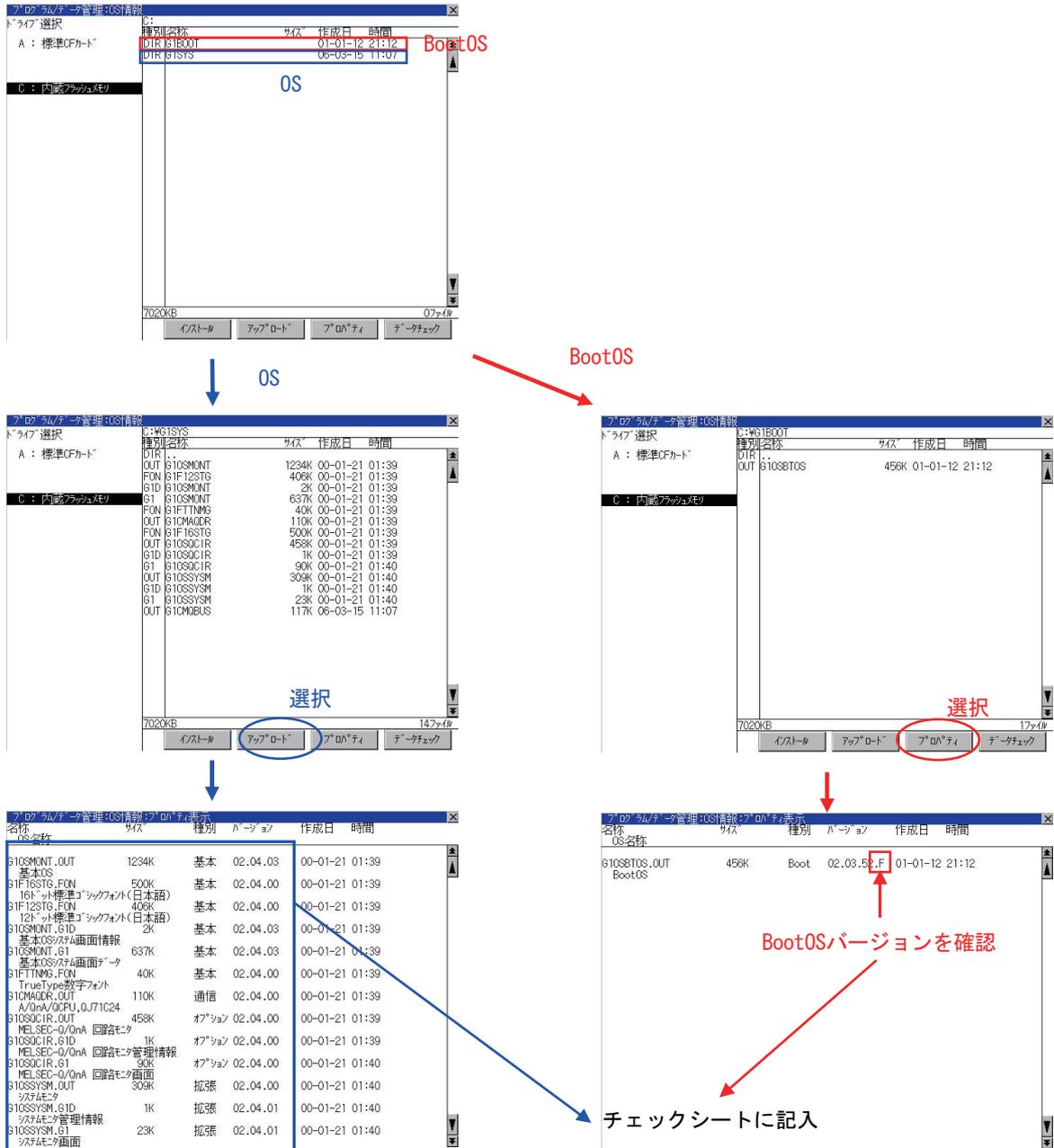
BootOS : インメニュー→データ管理→OS・プロジェクト情報→OS情報→G1 BOOT→プロパティ

OS : インメニュー→データ管理→OS・プロジェクト情報→OS情報→G1SYS→プロパティ

##### <GT15モデルの場合>

BootOS : メインメニュー→プログラム/データ管理→OS情報→G1 BOOT→プロパティ

OS : メインメニュー→プログラム/データ管理→OS情報→G1SYS→プロパティ

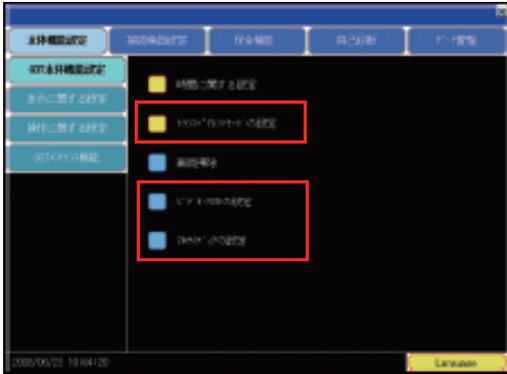


### 3.2 GOTセットアップの確認方法

#### 3.2.1 GT16モデルの場合

##### (1) GOT本体機能

[メインメニュー]→[GOT本体機能設定]→[トランスペアレントモードの設定], [ビデオ・RGB設定], [マルチメディアの設定]



GOT本体機能設定: トランスペアレントモードの設定

CRNo.

確定

ビデオ・RGB設定: ビデオ接続機器設定

入力信号

解像度

注: 再起動後に、変更した設定が有効となります。

確定

マルチメディア設定: ビデオ接続機器設定

入力信号

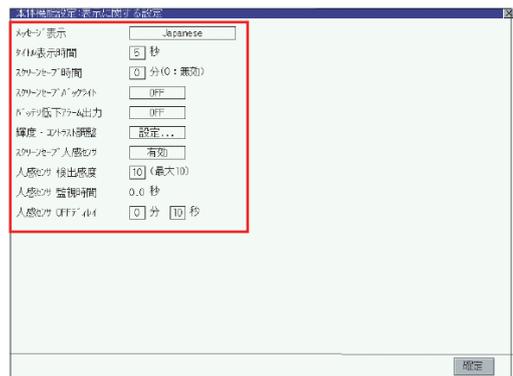
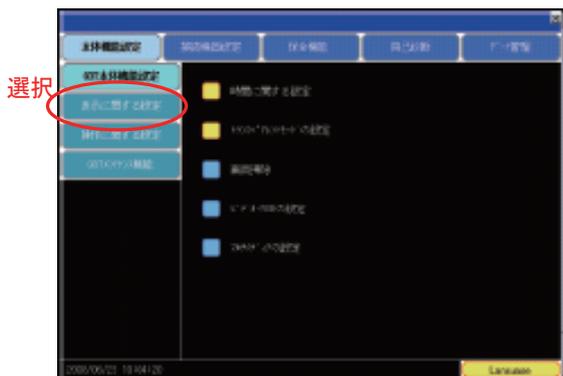
解像度

注: 再起動後に、変更した設定が有効となります。

確定

各項目をチェックシートに記入

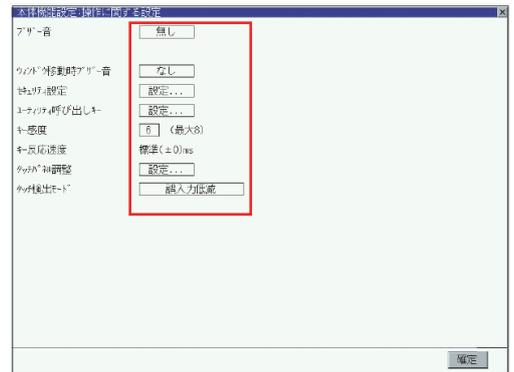
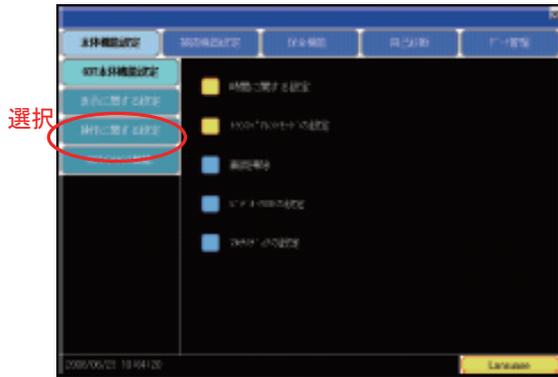
##### (2) 表示に関する設定



各項目をチェックシートに記入

(3) 操作に関する設定

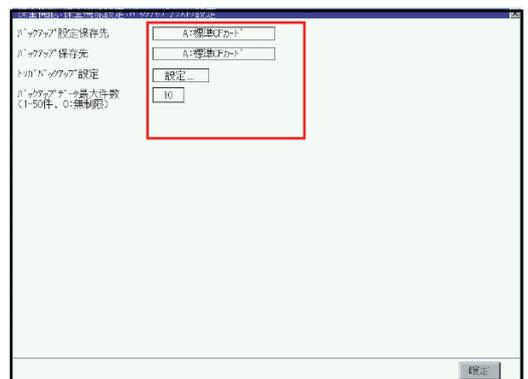
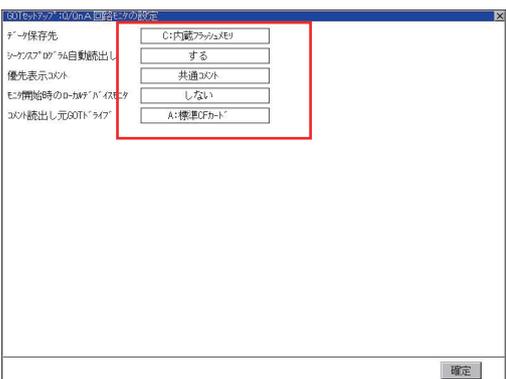
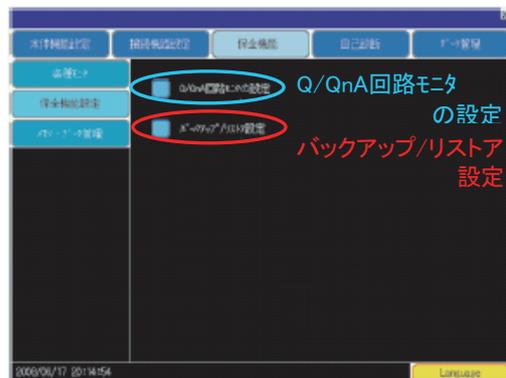
[メインメニュー]→[操作に関する設定]



各項目をチェックシートに記入

(4) 保全機能設定

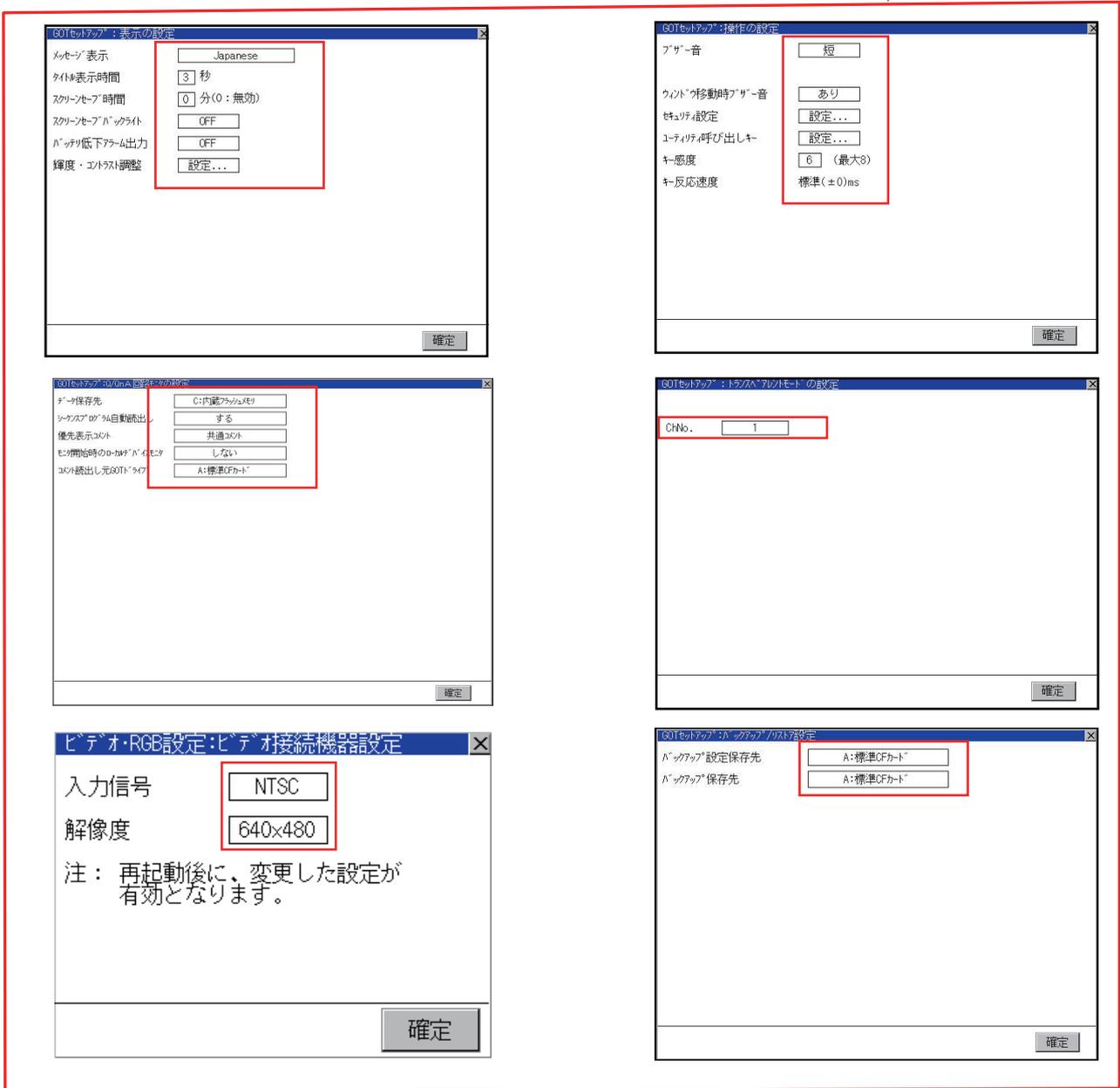
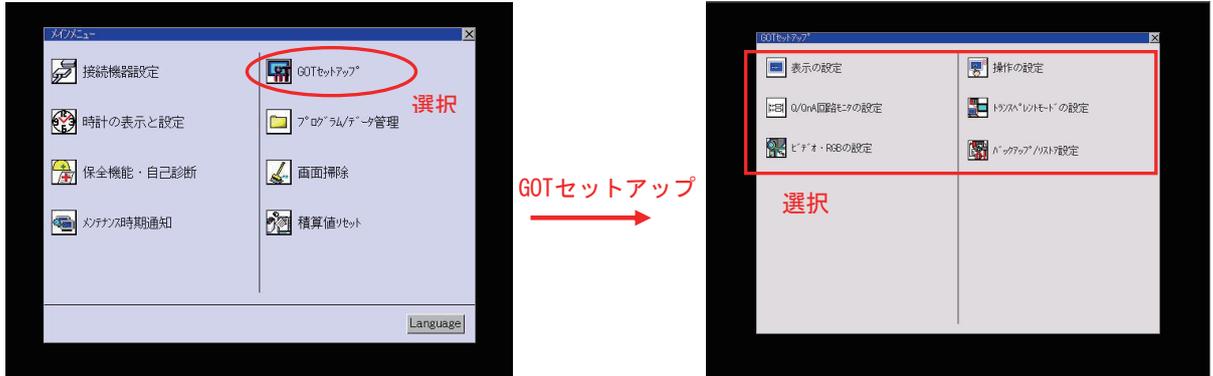
[メインメニュー]→[保全機能]→[保全機能設定]→[操作に関する設定]



各項目をチェックシートに記入

### 3.2.2 GT15モデルの場合

[メインメニュー]→[GOTセットアップ]→[表示の設定], [操作設定], [Q/QnA回路モニタの設定], [トランスペアレントモードの設定], [ビデオ・RGB設定], [バックアップ/リストア設定]

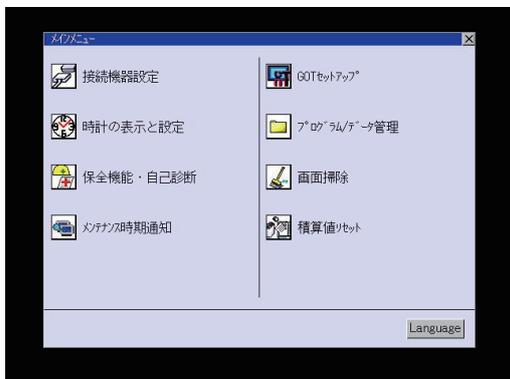


各項目をチェックシートに記入

### 3.3 メンテナンス時期通知の確認方法

#### (1) GT15モデル

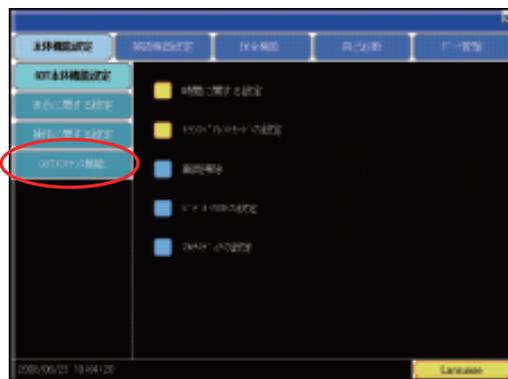
[メインメニュー]→[メンテナンス時期通知]



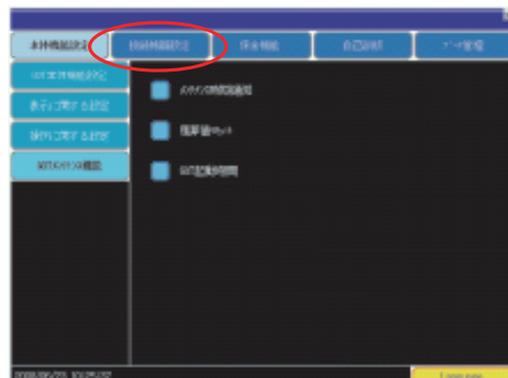
#### (2) GT16モデル

[メインメニュー]→[GOTメンテナンス機能]  
→[メンテナンス時期通知]

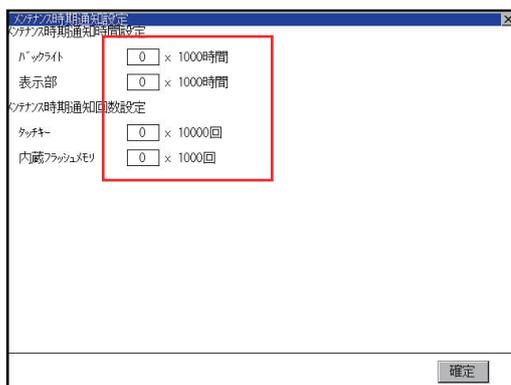
選択



選択



メンテナンス  
時期通知

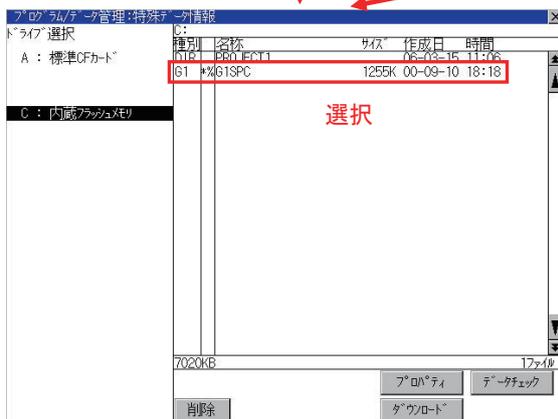
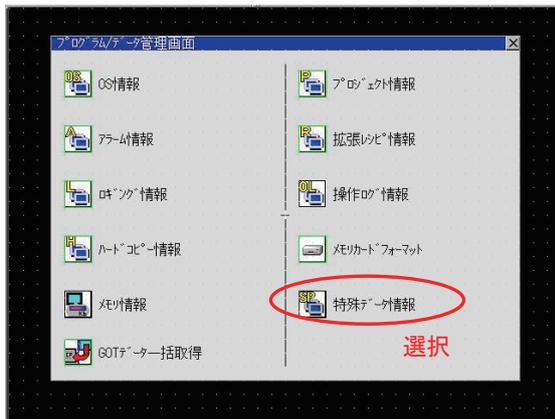
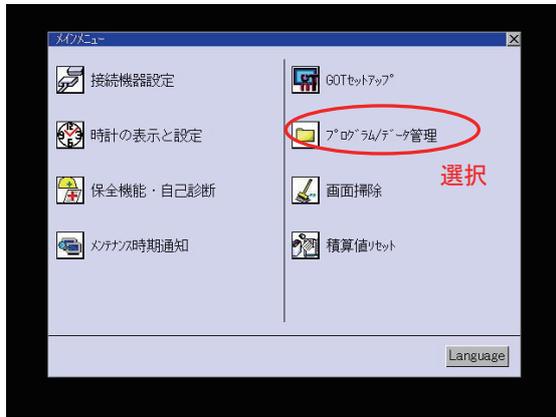


各項目をチェックシートに記入

### 3.4 特殊データ有無の確認方法

#### (1) GT15モデル

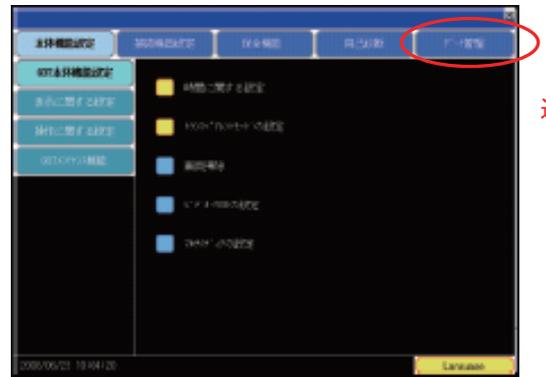
メインメニュー→プログラム/データ管理  
→特殊データ情報



チェックシートに記入

#### (2) GT16モデル

メインメニュー→データ管理情報  
→特殊データ情報

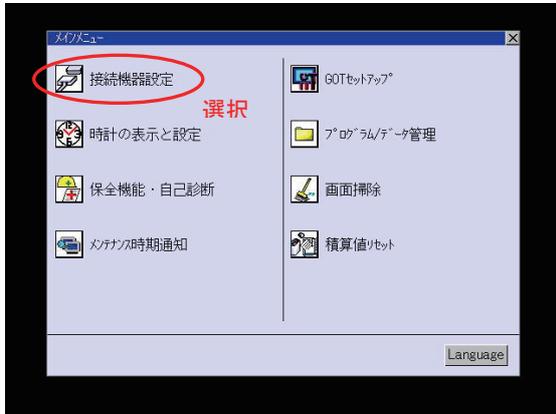


選択

### 3.5 接続機器設定の確認方法

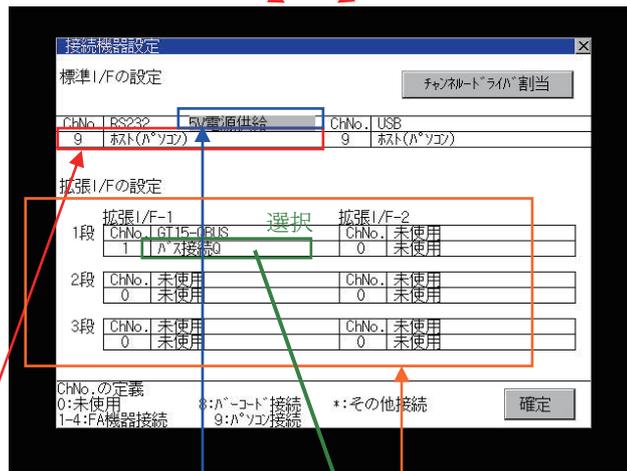
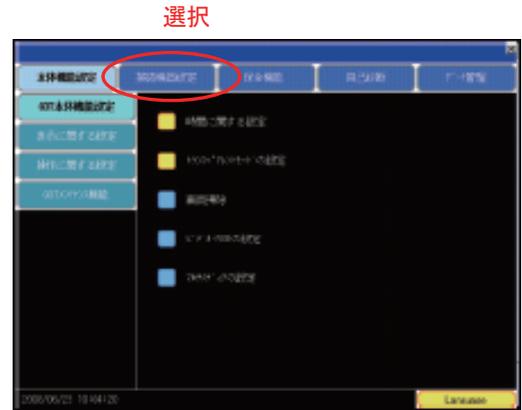
#### (1) GT15モデル

メインメニュー→接続機器設定



#### (2) GT16モデル

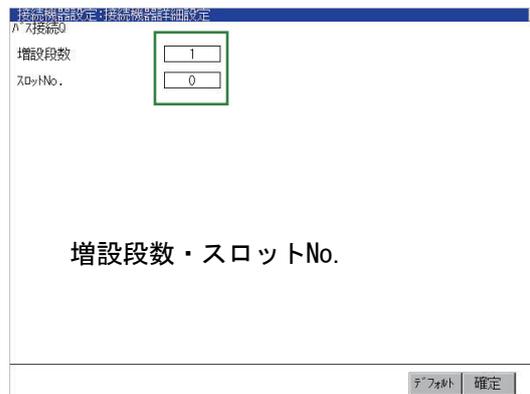
メインメニュー→接続機器設定



標準I/F (RS232)

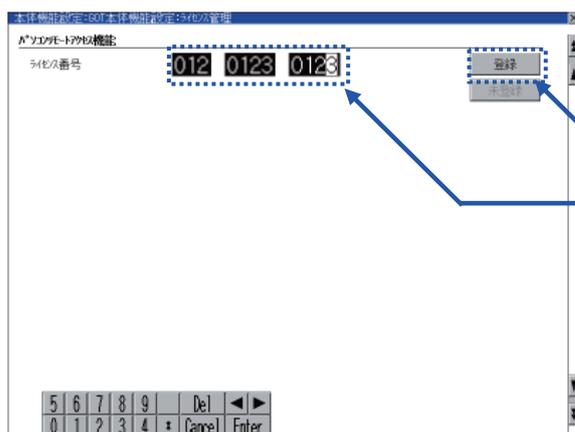
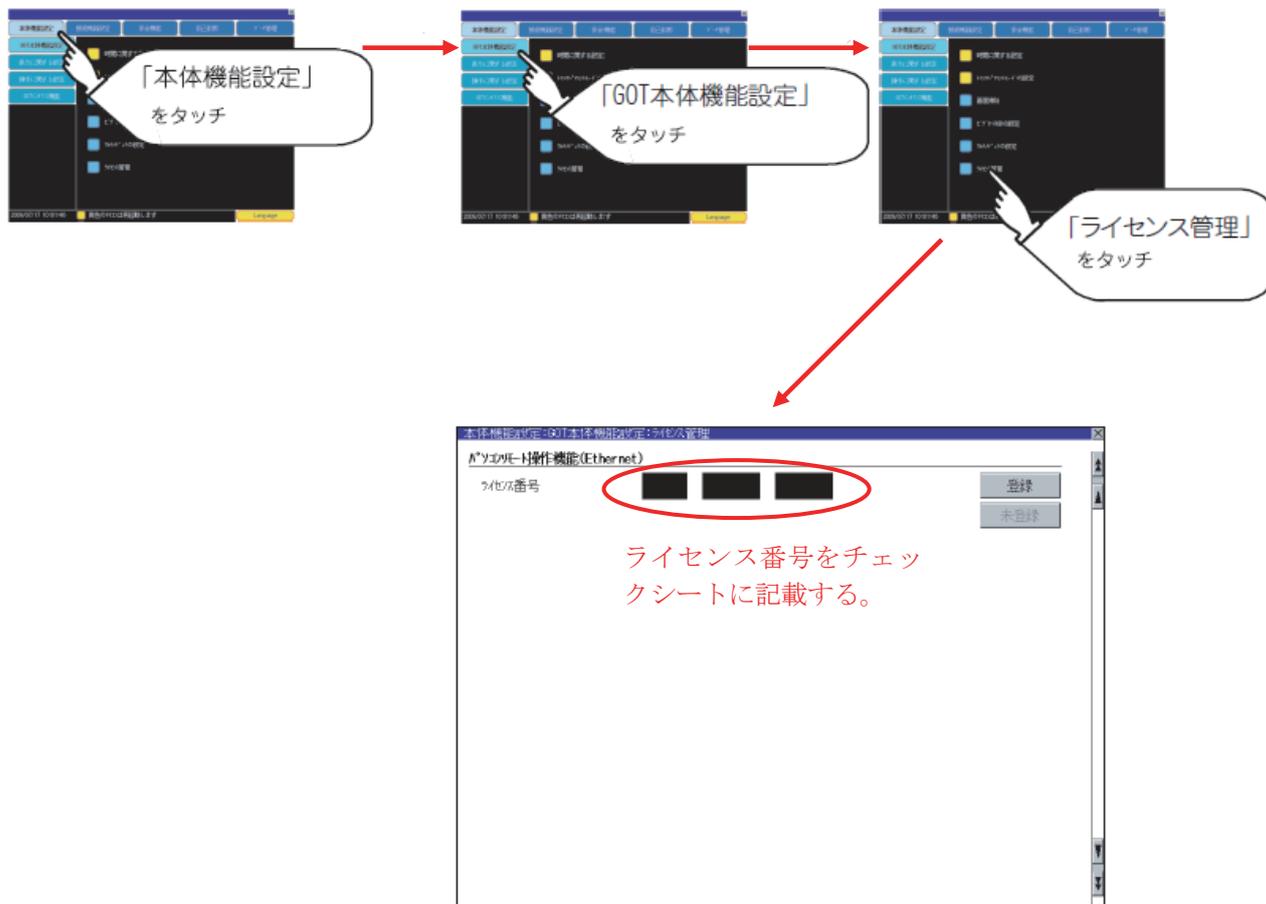
5V電源供給

拡張I/F



### 3.6 パソコンリモート操作機能(Ethernet)

メインメニュー→本体機能設定



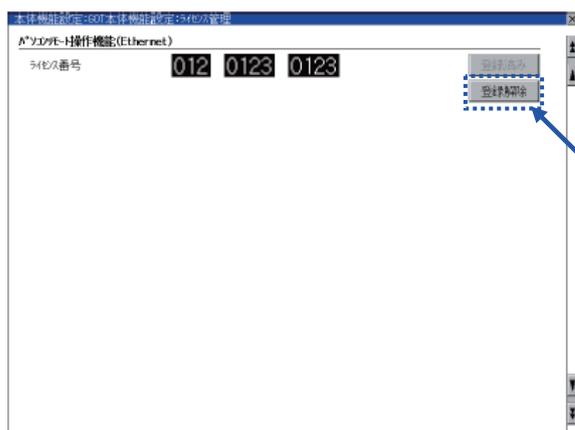
登録ボタン

ライセンス番号入力エリア

ライセンス番号を登録する場合、入力エリアをタッチして画面の下に表示されたキーボードでライセンス番号を入力します。

入力後、登録ボタンを押して登録完了となります。

注：登録ボタンをタッチせず右上の ☒ ボタンをタッチするとライセンス番号の登録は行われません。



登録解除ボタン

ライセンス番号の登録解除を行う場合は、登録解除ボタンを押してください。

副番	発行年月	改定内容
*	2011年4月	・初版発行

**三菱電機株式会社** 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	{03} 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	{011} 212-3794
東北支社	〒980-0011	仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	{022} 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー)	{048} 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	{025} 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	{045} 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	{076} 233-5502
中部支社	〒450-8522	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル)	{052} 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	{0565} 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	{06} 6347-2882
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	{082} 248-5445
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	{087} 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	{092} 721-2247

**インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス**

MELFANSwebホームページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>  
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、GOTのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録(無料)が必要です。

**三菱電機FA機器TEL、FAX技術相談**

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日  
 ※2: ACサーボ、モーション窓口に对应します  
 ※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

● 電話技術相談窓口

対象機種	電話番号	受付時間※1
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど、MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417 月曜～金曜 9:00～19:00
FGOT/DU表示器	GOT-F900シリーズなど	052-725-2271 月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSEC-FX/F	Fシーケンサ全般	052-711-5111 月曜～金曜 9:00～19:00
MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサ	シーケンサ一般(下記以外)	052-712-2578
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578
	位置決めユニット、シンプルモーションユニット ※2	052-712-6607
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-712-2370
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	MELSOFT iQ Works (Navigator)、MELSOFT GXシリーズ、SW□IVD-GPPA/GPPQなど	052-719-4557 月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ、SW□D5F-CGSKP/OLEX/XMOPなど	052-711-0037 月曜～金曜 9:00～19:00
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	052-712-2370 月曜～木曜 9:00～19:00
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU、二重化CPU、MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830 金曜 9:00～17:00
MELSEC Safety	安全シーケンサ/安全コントローラ	052-712-3079

● FAX技術相談窓口 MELFANSwebまたは、H@ISEIwebのQ&Aもご利用ください。なお、お急ぎの場合は、お手数ですが、上記電話技術相談窓口までご相談ください。

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種(電力計測ユニット(QE8□)を除く)	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時※3)
電力計測ユニット(QE8□)	084-926-8340	9:00～15:00(受信は常時※3)

**安全に関するご注意**

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。

付録.1 GT16モデル交換作業チェックシート

番号	盤名			日付	
	形名	GT16	SERIAL	担当	
交換実施前 作業 No.1	GOT本体と制御盤にテープを貼り番号記入		← 交換前に記入		
	番号・日付・担当者名・盤名・形名・SERIALを記入		取付後チェック 記入後チェック ↓		
	起動ドライブの確認	OS	<input type="checkbox"/> Cドライブ <input type="checkbox"/> Aドライブ	↓ ↓	
		プロジェクトデータ	<input type="checkbox"/> Cドライブ <input type="checkbox"/> Aドライブ	↓ ↓	
	本体機能設定	時計管理に関する設定	<input type="checkbox"/> 時刻合わせ <input type="checkbox"/> 時刻通知		
		トランスペアレントモードの設定	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 時刻合わせ/時刻通知		
		ビデオ・RGBの設定	ChNo.		
		マルチメディアの設定			
		ライセンス管理			
	本体機能設定 【表示に関する設定】	メッセージ表示	<input type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 韓国語		
		タイトル表示時間	秒		
		スクリーンセーブ時間	分		
		スクリーンセーブバックライト	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF		
		バッテリー低下アラーム出力	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF		
		輝度・コントラスト調整	輝度: / , コントラスト: /16		
		スクリーンセーブ人感センサ	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効		
		人感センサ検出感度	/10		
		人感センサ監視時間	秒		
	人感センサOFFディレイ	分 秒			
	本体機能設定 【操作に関する設定】	ブザー音	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 短 <input type="checkbox"/> 長		
		ウィンドウ移動時ブザー音	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
		セキュリティ設定	お客様に確認する		
		ユーティリティ呼び出しキー	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		キー感度	/8		
	本体機能設定 GOTメンテナンス機能 【メンテナンス時期通知】 【積算値リセット】	メンテナンス時期通知時間設定	バックライト: 表示部:		
		メンテナンス時期通知回数設定	タッチキー: 内蔵メモリ:		
		実通電時間	バックライト: 表示部:		
		実押下回数	タッチキー:		
		実書込回数	内蔵フラッシュメモリ:		
	接続機器設定 拡張I/Fは1又は2に○を付け、 段数を記入	標準I/F:RS232	ChNo. ドライバ:		
5V電源供給		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
標準I/F:USB		ChNo. ドライバ:			
標準I/F:RS422/485		ChNo. ドライバ:			
標準I/F:Ethernet		ChNo. ドライバ:			
Ethernet I/F割当		詳細設定:			
		ChNo. ドライバ:			
		ChNo. ドライバ:			
拡張I/F- 1 / 2 __段		ChNo. ドライバ:			
	詳細設定:				
	ChNo. ドライバ:				
拡張I/F- 1 / 2 __段	ChNo. ドライバ:				
	詳細設定:				
	ChNo. ドライバ:				
拡張I/F- 1 / 2 __段	ChNo. ドライバ:				
	詳細設定:				
	ChNo. ドライバ:				
保全機能 保全機能設定 【Q/QnA回路モニタの設定】	データ保存先	<input type="checkbox"/> A:標準 <input type="checkbox"/> B:拡張 <input type="checkbox"/> C:内蔵 <input type="checkbox"/> なし			
	シーケンスプログラム自動読出し	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない			
	優先表示コメント	<input type="checkbox"/> 共通コメント <input type="checkbox"/> プログラム別コメント			
	モニタ開始時のローカルデバイスモニタ コメント読出し元GOTドライブ	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない			
保全機能 保全機能設定 【バックアップ/リストア設定】	バックアップ設定保存先	<input type="checkbox"/> A:標準 <input type="checkbox"/> B:拡張 <input type="checkbox"/> E:USB			
	バックアップ保存先	<input type="checkbox"/> A:標準 <input type="checkbox"/> B:拡張 <input type="checkbox"/> E:USB			
	バックアップデータ最大件数	件			
保全機能 メモリ・データ管理 【メモリ情報】	フラッシュメモリ空き領域量	C: 内蔵フラッシュメモリ	byte		
	Boot先空き領域量		byte		

付録.1 GT16モデル交換作業チェックシート

交換実施前 作業 No.2	データ管理  各種データ管理 【特殊データ情報】  OS・プロジェクト情報 【OS情報】 【プロジェクト情報】	特殊データ(有りの場合は追加欄に記入)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
		BootOS	Ver		
		基本機能	Ver		
		通信ドライバ	Ver		
			ドライバ名:		
		拡張機能/オプション機能			
		作画ソフトバージョン			
	電源共有の確認	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	共有GOT番号:		
	線番の確認	AC100/DC24+			
		AC100/DC24-			
LG					
FG					
CFカードの確認	ユーザCFカード装着	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
	ACCESSスイッチ	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF			
通信ユニット・オプションユ ニットの確認	通信ユニット・オプションユニット (書ききれない場合は追加欄に記入)	形名:			
		形名:			
	交換元GOTからデータを取得する				
	取得したデータをパソコンに保存する	ファイル名:			

交換作業	電源切 注) BUS接続時は、シーケンサ電源OFFを確認すること		
	交換元GOT本体電源OFF後 検電器でチェック 注) 誤検知するためUSB等ケーブルを外す		
	電源ケーブル・通信ケーブル・通信ユニット・オプションユニット・CFカードを外す		
	取付け金具を外し、本体を盤から外す		
	オプションユニットがあれば代品に取り付ける		
	交換先GOT本体のシリアルNO確認・・・備考欄の空きスペースに記入		
	交換先GOT本体を盤に取付ける		
交換実施後 確認作業	電源ケーブル・通信ユニット・通信ケーブルを接続する (上記内容(既存機)と一致することを確認)		
	交換先GOTに交換元GOTより取り出したデータをいれる		
	OS情報・セットアップ内容を確認する (上記内容と一致することを確認)		
	自己診断にて[メモリチェック]を実施 (PASSWORD:5920)		
	自己診断にて[描画チェック]を実施		
	自己診断にて[タッチパネルチェック]を実施 (対角線 右上から左下への一列を確認)		
	ユーザ画面が表示されているか?		

追加欄

通信ユニット・オプションユ ニットの確認	下図に拡張I/Fの形名を記入										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; height: 20px;"></td> <td style="width: 100px; height: 20px;"></td> <td style="width: 100px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50px; height: 20px;"></td> <td style="width: 100px; height: 20px;"></td> <td style="width: 100px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50px; height: 20px;"></td> <td style="width: 100px; height: 20px;"></td> <td style="width: 100px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">端子台    拡張I/F-1                      拡張I/F-2</p> <p style="text-align: center;">GOT下側</p>										拡張I/F 3段 拡張I/F 2段 拡張I/F 1段

その他の書ききれない情報をご記入ください。(備考欄)

付録.1 GT16モデル交換作業チェックシート

接続機器詳細チェックシート

取付後チェック  
 ↓  
 記入後チェック ↓

Ethernet	GOT NET No.			
	GOT PC No.			
	GOT IPアドレス			
	GOT ポートNo.			
	デフォルトゲートウェイ			
	サブネットマスク			
	リトライ回数	回		
	立ち上がり時間	秒		
	通信タイムアウト時間	秒		
	送信遅延時間	× 10ms		

MELSEC NET H	伝送速度	Mbps		
	ネットワーク種別			
	ネットワークNo			
	局番			
	グループNo			
	モード設定			
	リフレッシュ間隔			
	リトライ回数	回		
	通信タイムアウト時間	秒		
	送信遅延時間	ms		

CC-Link	局番			
	伝送速度設定			
	モード設定	Ver.		
	拡張サイクル設定	倍		
	占有局数	局		
	異常時のクリア設定			
	リトライ回数	回		
	通信タイムアウト時間	秒		
送信遅延時間	ms			

付録.2 GT15モデル交換作業チェックシート

番号	盤名			日付		
	形名	GT15	SERIAL	担当		
交換実施前 作業	GOT本体と制御盤にテープを貼り番号記入		← 交換前に記入		取付後チェック	
	番号・日付・担当者名・盤名・形名・SERIALを記入				記入後チェック ↓ ↓	
	起動ドライブの確認		OS プロジェクトデータ	□Cドライブ □Aドライブ □Cドライブ □Aドライブ	↓ ↓ ↓ ↓	
	接続機器設定の確認	標準I/F:RS232		ChNo.	ドライバ:	
		5V電源供給		□あり □なし		
		拡張I/F- 1 / 2 ___段		ChNo.	ドライバ:	
		拡張I/Fは1又は2に○を付け、 段数を記入		詳細設定:		
	GOTセットアップの確認	メッセージ表示		□日本語 □英語 □韓国語		
		タイトル表示時間			秒	
		スクリーンセーブ時間			分	
		スクリーンセーブバックライト		□ON □OFF		
		バッテリー低下アラーム出力		□ON □OFF		
		輝度・コントラスト調整		輝度: / , コントラスト: /16		
		白黒反転表示		□ON □OFF		
		スクリーンセーブ人感センサ		□有効 □無効		
		人感センサ検出感度		/10		
		人感センサOFFディレイ		分 秒		
		ブザー音		□無し □短 □長		
		ウィンドウ移動時ブザー音		□あり □なし		
		セキュリティ設定		お客様に確認する		
		ユーティリティ呼び出しキー		□ □		
		キー感度		/8		
		Q/QnA回路モニタ		□A:標準 □B:拡張 □C:内蔵 □なし		
	シーケンスプログラム自動読出し		□する □しない			
	優先表示コメント		□共通コメント □プロジェクト別コメント			
	モニタ開始時の「カラーバース」		□する □しない			
	コメント読出し元GOTドライブ		読出し元: □A:標準 □B:拡張			
	トランスペアレントモード		ChNo.			
	バックアップ/リストア		設定保存先: □A:標準 □B:拡張 データ保存先: □A:標準 □B:拡張			
	時計の表示と設定の確認		時計管理	□時刻合わせ □時刻通知 □なし □時刻合わせ/時刻通知		
(右欄以外のOSは 追加欄に記入)	BootOS		Ver			
	基本機能		Ver			
	通信ドライバ		Ver ドライバ名:			
	拡張機能/オプション機能					
作画バージョン						
特殊データの確認		特殊データ(有りの場合は追加欄に記入)		□あり □なし		
メンテナンス時期通知の確認	メンテナンス時期通知時間設定		バックライト: 表示部:			
	メンテナンス時期通知回数設定		タッチキー: 内蔵メモリ:			
電源共有の確認		□あり □なし		共有GOT番号:		
線番の確認	AC100/DC24+					
	AC100/DC24-					
	LG					
	FG					
CFカードの確認		ユーザCFカード装着		□あり □なし		
ACCESSスイッチ		□ON □OFF				
通信ユニット・オプション ユニットの確認		通信ユニット・オプションユニット (書ききれない場合は追加欄に記入)		形名: 形名:		
交換元GOTからデータを取得する						
取得したデータをパソコンに保存する		ファイル名:				

付録.2 GT15モデル交換作業チェックシート

交換作業	電源切 注) BUS接続時は、シーケンサ電源OFFを確認すること		
	GOT本体電源OFF後 検電器でチェック 注) 誤検知するためUSB等ケーブルを外す		
	電源ケーブル・通信ケーブル・通信ユニット・オプションユニット・CFカードを外す		
	取付け金具を外し、本体を盤から外す		
	オプションユニットがあれば交換先GOTに取り付ける		
	交換先GOT本体のシリアルNO確認・・・備考欄の空きスペースに記入		
	交換先GOT本体を盤に取付ける		
	電源ケーブル・通信ユニット・通信ケーブルを接続する (上記内容(既存機)と一致することを確認)		
交換実施後確認作業	交換先GOTに交換元GOTより取り出したデータをいれる		
	OS情報・セットアップ内容を確認する (上記内容と一致することを確認)		
	自己診断にて[メモリチェック]を実施 (PASSWORD:5920)		
	自己診断にて[描画チェック]を実施		
	自己診断にて[タッチパネルチェック]を実施 (対角線 右上から左下への一列を確認)		
	ユーザ画面が表示されているか?		

追加欄

通信ユニット・オプションユニットの確認	下図に拡張I/Fの形名を記入		拡張I/F 3段 拡張I/F 2段 拡張I/F 1段										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>												
<p>端子台      拡張I/F-1      拡張I/F-2</p> <p style="text-align: center;">GOT下側</p>													
<p>その他の書ききれない情報をご記入ください。(備考欄)</p>													